

中学生が職場体験をしました！

9月24日から9月28日まで、地域事業所117カ所のご協力のもと、市内の中学2年生503人が職場体験学習を行いました。



“大和保育所”では、子どもたちの給食を運んだり、着替えの手伝いをしました。また、玉入れや障害物競争など、運動会の練習も子どもたちと一緒に頑張りました。遊びの時間になると元気いっぱいの子もたちが園庭でかけっこをして、とてもにぎやかでした。



“華杏”で会食用の配膳を手伝いました。



“レストランChip”で弁当づくりや食器洗いを手伝いました。

中学生の職場体験学習は、自分の生き方や進路について考えたり、将来の夢や目標の実現のために学習意欲をさらに伸ばしたり、社会人としての基本的マナーやコミュニケーション能力を身に付けたりすることを目的に実施しています。

市では学校・家庭・地域の三者が連携・協力をしながら、学校運営を行うコミュニケーション・スクールを推進していきます。

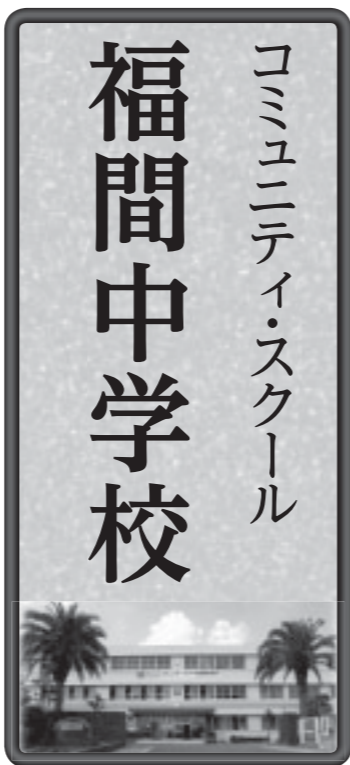
今後とも、地域の事業所の皆さまには、無限の可能性を秘めた子どもたちの成長を温かく見守っていただきますようお願いいたします。

ご協力いただきました事業所のかたがたに厚くお礼申し上げます。

事業所の感想

・働くことの大変さ、大切さ、親への感謝を感じる機会になると思います。(飲食店)
・働くことの基本となる「あいさつ」が身に付けられ、仕事をすると大変さや楽しさを経験でき、将来の仕事につながるのではないかと思います。(保育所)

・職場体験は、学校や家庭では体験できない緊張感や他人とのコミュニケーション、自分で考えて行動する力が身に付くと思います。(福祉施設)
・職場体験は、早い時期に将来のことを考える上で、有効な手段と考えます。(製造業)
・社会に対しての考え方や接遇、働くことがどのようなことなのか、重要なことが学べたと思います。(小売業)
・職場体験を通して、いろいろな仕事があることや、仕事の大変さや必要とされることなど、さまざまなことを考えたり、感じたりしたと思います。(幼稚園)



“リンガーハット”では、お客さんから注文を取ったり、注文の品を届けたりしました。厨房裏では、食器を洗ったり、片付けをしたりするなど裏方の作業をしました。

生徒の感想

【保育園】
小さい子の一言、一言でうれしくなったり、元気になれたり、時には落ち込んだり、毎日、変化でいっぱいでした。でも、走り回る時とか寝ている時とか笑っている時、全部全部生き生きしてて幸せな時間をみんなにもらえました。「〇〇お姉ちゃん」と呼ばれるたびに笑ってくれるたびに心が軽くなって、小さい子ですごくいいです。保育園に来て一番大切な「笑顔」と『一生懸命』を一から教えてもらいました。大変でつらかったけれど、それ以上の喜びや幸せがあった、みんな仕事を頑張れるんだと感じました。本当に保育園に行けてよかったです。

【飲食業】
僕はこの職場体験で、働くことがどれだけ大変なことかを教わりました。初日は分からないことばかりで、1日のほとんどが皿洗いという仕事でしたが、日が経っていくうちに接客などの仕事ができ、積極的に行動できるという自信が付きました。店長さんに「うまくなったね」と言われたときはとてもうれしかったです。これからは何にでも責任を持って行動したいです。そして他の人が何かをしていた

保護者の声

仕事との出会いはとても意味のあるものになったのではないかと思います。貴重な体験をさせていただき、とても感謝しております。

事業所へのお礼の言葉

僕たちが職場体験で一番印象に残ったものは、ロールプレイです。商品の説明をするだけでなくお客様により良い物を買ってもらうために、いろいろな努力をしていることが分かりました。受け入れてくださり、ありがとうございました。



“イオンモール”の雑貨店で商品の管理をしました。お客様への「いらっしゃいませ」や「ありがとうございました」のあいさつはとても大切です。



“しーじゃく”では、窓拭きなどの店内清掃、テーブルや椅子、調味料類の準備や食器の片付けをしました。

